

第27回

うつのみやこども賞だより

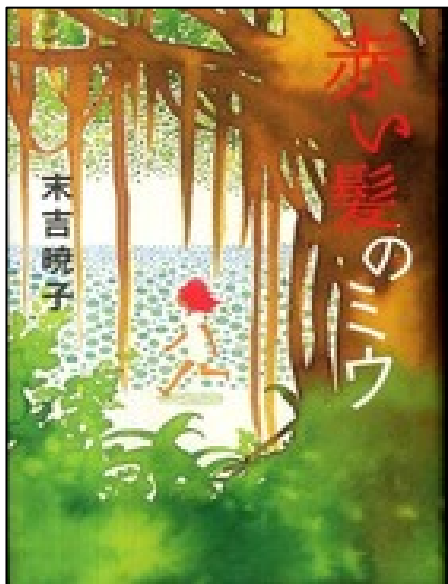
平成22年度 第5回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『赤い髪のミウ』

末吉暁子／作 平澤朋子／絵（講談社）



～読んだ本の感想より～

- 航がミウを助けるために祈りをささげてミウを力づくで救ってあげる所が感動した。
- キジムナーとミウの交流がいいと思った。
- 航がミウと仲よくなっていくうちに航の心もやさしくなっていく所がおもしろかったです。
- 最後にミウと航がヒジを見て幸せな気分になった後、ほほ笑みあったところが心に残った。
- 私もキジムナーに会ってみたいです。
- 神の存在を信じない航がミウをうばわれたことで、自分にとって大切なものは何なのか実感できた時のシーンは心温まった。
- ミウの赤い髪はとても不思議だなあと考えた。

- 私も神高島へ行ってミウ達といろいろなことをしてみたいと思った。
- 航が島の留学センターで楽しく過ごせてよかったです。

『雲のはしご』 梨屋アリエ／作（岩崎書店）

- 友だちの大切さや努力すれば必ずできるということも知りました。
- ゆうゆとみつきの変わらない友情に感動しました。
- 性格が違うのに仲良くできるのはいいなと思いました。
- 友だちも勉強もつきあっていくのは難しいなと思いました。
- みつきとゆうゆが最後に仲直りするのが良かった。
- すぐにあきらめてはいけないことが学べる本です。
- 女の子どうしの物語なので共感できる所が多かった。

『ピアチェーレ』 にしがきようこ／作（小峰書店）

- 主人公が歌を歌うことで今まで出せなかった自分の感情を出せるようになり、自分の居場所を見つけられた所が良かった。
- 歌っている時の感覚がこっちにも伝わるようないい本でした。
- 合唱をすると気持ち良くなる嘉穂とひとみの二人でピアノと歌を習いに行き、発表するのが良かった。
- 最後に後藤と嘉穂がきょうえんしているところが見てみたかった。
- 嘉穂に対しての後藤の態度が嫌だったけれど、本当はやさしいんだなと思いました。
- 一つのことを好きになると、ざせつして苦しむこともあるけれど、それを乗り越えれば成功がつかめるということがわかった。

『ライバル おれたちの真剣勝負』 はまなかあき／作（角川学芸出版）

- 真剣勝負というのはこういうものなんだなと思った。
- 私もこの話のように1つのことに夢中になってみたいです。
- 将棋をやっていないマサユキが小学生名人戦の県予選で優勝するなんてすごいと思いました。
- マサユキと真剣勝負したかったリュウが勝負にやぶれたのに「マサユキと強くなりたいたい」と言ったところに感動した。
- 将棋のルールやわざなどがわかりやすくて良かったです。
- リュウとマサユキと一緒にどんどん成長していくところが良かった。
- ぼくも将棋が好きなので、マサユキの成長をみて追い抜かれる心配をするのが分かる気がした。
- 私も将棋をやってみたくなり、実際にやってみました。